



Japan Society of Internship
and Work Integrated Learning

日本インターンシップ学会 NEWS LETTER

2018年度 NO.1

■目次

- ・第19回大会を終えて
- ・第20回大会開催に向けて
- ・理事会報告
- ・2018年度総会報告
- ・2017年度事業報告及び決算報告
- ・2018年度事業計画及び予算
- ・年報編集委員会報告
- ・広報委員会報告
- ・2018年度（第12回）高良記念研究助成報告
- ・企画研究WG報告
- ・楨本記念賞WG報告
- ・支部活動報告
（北海道支部、東日本支部、関西支部、九州支部）
- ・事務局からのお知らせ
- ・会員情報

第19回大会を終えて

9月3、4日の2日間、香蘭女子短期大学において、第19回大会を開催いたしました。昨年度の第18回大会に続き、平日での開催となり、参加者が少ないのでは、と危惧しておりましたが、120名をこえる（本学関係者を除く）方々のご参加をいただきました。ご参加いただきました皆様に対し、心より御礼申し上げます。

さて、今大会のテーマは「地域との連携強化とインターンシップの今後のあり方」と致しました。その理由は、昨今の企業や地域から求められている能力（ジェネリックスキル等）を大学・短大で育成して欲しいという強い要請があり、同時に、就職活動とインターンシップの関係も大きく変わりそうな時代を迎え、今一度原点に立ち戻り、地域と大学・短大の繋がりを考え、インターンシップの将来を検討すべき時期に来ていると考えたからです。特に今回の大会では、本学が立地する福岡市は、起業が盛んな土地柄ということもあり、「起業から見たインターンシップのあり方」を軸とした内容とし、基調講演、並びに続くシンポジウムを開催いたしました。

具体的には、まず、基調講演といたしまして、宮城治男氏（NPO法人ETIC代表理事）より、「起業家型リーダー育成のインターンシップ～地域の起業力を育むエコシステムの構築に向けて～」と題して、約1時間ご講演を行っていただきました。NPO法人ETICとして、累計700名以上の社会起業家を育成・輩出された経験があり、実践型インターンシップの教育効果について語っていただきました。また、地域でのインターンシップの継続性については、地域コーディネーターの役割が重要であるとの見解を示されました。

続くシンポジウムでは、宮城氏に加え、高橋康徳氏（株式会社カウテレビジョン 代表取締役社長）と熊野正樹氏（九州大学 学術研究・産学官連携本部 准教授/企業部顧問）にもご登壇いただき、吉本圭一氏（九州大学大学院 人間環境研究員 主幹教授）をコメンテーターとして迎え、「起業とインターンシップ」と題し、2時間5名

の方に語っていただきました。2時間の長丁場でしたが、終了後の懇親会の場などで、とても興味深い内容だったとお褒めの言葉を頂戴し、主催者の一人として大変嬉しく思いました。

また、初日は高良記念研究助成報告として2名の方にご報告いただいた後、年次総会、さらに65名（本学関係者を除く）の方にご参加いただき懇親会を開催いたしました。2日目は、個別自由研究発表を行いました。19件のお申し込みがあり、4教室に分かれて発表いただきました。研究発表の分野も広がりを見せており、教室ごとの議論も活発に行われていたようです。各教室の内容に関しましては、閉会式の際、各教室の司会をお頼みした先生方にまとめをしていただきました。

昨年9月に大会実行委員長就任が決まり、実行委員のみなさまからはご助言、ご協力をいただき、また本部からのご支援などにより、大きなトラブルなく大会を終了することができました。関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。しかしながら、参加者の皆様に対しましては、細かい部分での失礼やご不便をおかけした面がありましたこと、この場を借りてお詫び申し上げます。最後になりますが、来年度、関西での大会は立命館大学にて開催されると伺っております。第20回大会がより一層の盛会となりますことを祈念いたします。

（第19回大会実行委員長 中濱雄一郎・香蘭女子短期大学）



第19回大会の様子

第 20 回大会開催に向けて

2019 年の大会は関西支部が担当することとなり、立命館大学の大阪茨木キャンパスで 8 月 31 日（土）～9 月 1 日（日）を目処に開催する方向で準備を進めています。すでに総会、研究発表に必要な会場および懇親会会場の予約等の手続きはすませましたが、第 20 回大会にふさわしいテーマやコンセプトを決定しなければならず、関西支部の運営委員の先生方と 11 月初旬に運営委員会を開催する予定です。

このたび、関西で総会が開催されるにあたり、関西支部の各大学が活発なインターンシップを展開し、学生の成長や、企業や組織からどのように評価されているのかを検証したいと考えています。また、近年、急激なグローバル社会の到来と広がりの中でインターンシップの役割が大きく変貌し、高等教育機関におけるインターンシップへの注目度がますます高まってきております。

そこで、立命館大学および京都産業大学が展開している国際的なインターンシップの実践内容や成果を検証するため、「グローバル社会におけるインターンシップの役割と成果」というテーマの基調講演やシンポジウムの開催なども検討しております。

いずれにしても、第 20 回大会は、ある意味、本学会にとっても記念大会となりますので、会員の皆様にもご満足いただけるよう質・量ともに充実したものになるよう関西支部といたしましても全力で頑張り、ぜひ、成功させたいと考えております。

（第 20 回大会実行委員長・関西支部長 廣瀬幸弘
・立命館大学理工学部）

理事会報告

2017 年度第 5 回理事会（2018 年 6 月 16 日）

於：北海道武蔵女子短期大学

(1)入退会申請について

入会申請は全 6 件（個人 5 名、学生 1 件）ありすべて承認、また退会申請も全 9 件（個人 7 名、団体 2 件）すべて承認された。

(2)第 19 回大会について

眞鍋副会長より資料に基づき、6 月 13 日実施実行委員会の報告、研究発表申込に関する各支部への PR 依頼、シンポジウム・基調講演のテーマに関する説明などがなされた。

(3)年報編集委員会

長尾委員長より資料に基づき、メンバー構成の説明がなされた。

(4)高良記念研究審査委員会

事務局より選考に関するスケジュールなどの説明がなされた。

(5)広報委員会

高橋委員長よりメンバー構成に関する説明、およびニ

ュースレターに関する報告がなされた。

(6)企画研究 WG

江藤委員長より資料に基づき、メンバー構成の説明、および今後の学会研究部門促進のための活動に関する報告がなされた。

(7)文部科学省のインターンシップ表彰制度との連携

古閑副会長より資料に基づき、文部科学省と本学会榎本記念賞の選考対象者の違いなどについて説明がなされた。

2018 年度第 1 回理事会（2018 年 8 月 4 日）

於：香蘭女子短期大学

(1)入退会申請者について

入退会申請は全 3 件（個人 3 名）ありすべて承認、また退会申請も全 9 件（個人 8 名、団体 1 件）すべて承認された。

(2)第 19 回大会について

香蘭女子短期大学の中濱大会実行委員長から、資料に基づき大会プログラムの説明があり、大会運営に関する確認作業がなされた。

(3)企画研究 WG

江藤委員長より資料に基づき、「研究スタートアップ支援セミナー（第 1 回）～高良記念研究助成の申請からその後（仮）」のテーマで、九州支部と高良記念研究助成審査委員会との共催形式のセミナーを 11 月 23 日に開催予定であるとの報告がなされた。

(4)広報委員会

眞鍋副会長より、2018 年度学会ニュースレター第 1 号の制作準備に今後取り掛かり、制作に関して関係各署へ協力をいただきたい旨の依頼がなされた。

(5)2017 年度決算および 2018 年度予算概要報告

事務局長より、資料に基づき 2017 年度決算概要案の報告がなされた。

(6)2018 年度高良記念研究助成審査結果について

事務局長より資料に基づき、審査結果の報告がなされた。本年度は 2 件の申請のうち九州大学大学院人間環境学府学術協力研究員である王佳氏の研究申請が採択され、審議の結果王氏 1 名の採択が承認された。

(7)学会会則改訂について

折戸会長より資料に基づいて、学会会則改訂に関する説明および審議が行われ、承認がなされた。今回の改訂ではルールの枝葉末節ではなく、大枠である会則の見直しを行った。

(8)その他

折戸会長より、発足 20 周年を迎える本学会の活動成果を示すために、2018 年度時に 20 周年記念事業を実施する旨の提案がなされ、審議の結果採択された。

2018 年度第 2 回理事会（2018 年 9 月 2 日）

於：香蘭女子短期大学

(1)入退会申請について

入会申請は全1件(団体1件)あり、承認された。なお、退会申請は0件であった。

(2) 第19回大会について

第19回大会開催の翌日が悪天候だった場合のキャンセル対応などについて協議がなされた。

(3) 広報委員会

吉田副委員長より、資料に基づき会員向けのメールマガジンの配信数などの報告がなされた。

(4) 企画研究 WG

江藤委員長より、資料に基づき九州支部と高良記念研究助成審査委員会との共催で行われるセミナーに関する報告がなされた。

(5) 年報編集委員会

長尾委員長より、年報制作スケジュールに関する報告がなされた。

(6) 2017年度決算および2018年度予算概要報告

事務局長より、資料に基づき2017年度決算案および2018年度予算案の説明がなされ、承認された。

(7) 学会会則改訂について

事務局長より、資料に基づき学会会則改訂に関する説明がなされ、承認された。

なお、各理事会で行われた委員会・ワーキンググループ・各支部の詳細な報告につきましては、本 News Letter の報告記事をご覧ください。

(事務局)

2018年度総会報告

総会が、2018年9月3日(月)香蘭女子短期大学において開催され、以下の報告・審議が行われた。

(1) 2017年度事業報告

事務局長より資料に基づき説明があり、承認された。

(2) 2017年度決算報告および2017年度 監査報告

事務局長より2017年度の決算報告が資料をもとに、報告がなされた。その後、森谷監事が監査報告を行い、承認された。

(3) 2018年度事業計画

事務局長より資料に基づき、事業の概要について説明があり、承認された。

(4) 2018年度予算について

事務局長より資料に基づき、一般会計予算案、特別会計予算案について説明があり、承認された(3)・(4)の詳細は「2018年度事業計画及び予算」を参照)。

(5) 高良記念研究助成について

牛山委員長より、今年度は1名の研究が採択されたことが報告され、王佳会員(九州大学大学院人間環境学府学術協力研究員)が承認され授与式が行われた。

(6) 学会会則改訂について

事務局長より資料に基づき、学会会則改訂の説明があり、これが承認された。

(7) 第20回大会について

折戸会長より、次回の第20回全国大会が関西支部の立命館大学で開催されるとの報告があり、これが承認された。

(8) その他

折戸会長より、来年20周年を迎える本学会の周年記念事業を2018年度に実施する旨の説明がなされ、これが承認された。

(事務局)

2017年度事業報告及び決算報告

「総会報告」のとおり、2017年度事業報告及び決算報告について、総会にて下記のとおり承認された。なお、2017年度決算報告については5ページをご覧ください。

1. 2017年度事業期間

・2017年7月1日～2018年6月30日

2. 事業の概要

・2017年8月31日・9月1日 第18回大会開催(会場:札幌国際大学・札幌国際大学短期大学部)

・2017年8月31日 総会(札幌国際大学・札幌国際大学短期大学部)

・2017年12月26日 臨時総会(嘉悦大学)

3. 理事会

・第1回理事会 2017年8月10日(札幌国際大学・札幌国際大学短期大学部)

・第2回理事会 2017年8月31日(札幌国際大学・札幌国際大学短期大学部)

・第3回理事会 2017年11月18日(玉川大学)

・第4回理事会 2018年2月17日(キャンパスプラザ京都)

・第5回理事会 2018年6月16日(北海道武蔵女子短期大学)

4. 各種委員会およびWG

(1) 年報編集委員会

・2018年1月「インターンシップ研究年報」20号発行

(2) 広報委員会

・2017年11月 NEWS LETTER2017 No.1 発行

・2018年5月 NEWS LETTER2017 No.2 発行

・学会ウェブサイトによる情報発信

・メルマガによる情報配信

(3) 高良記念研究助成審査委員会

・「2017年度高良記念研究助成」実施

2017年度は3件応募があり、審査委員会において厳正に審査を行い2名の会員が助成対象となった。

(4) 槇本記念賞 WG

2015、2016年度の2年間に大会や各支部で報告されたインターンシップの秀逸な事例を収集し、各支部から合計12例の「秀逸な」インターンシップ事例が推薦され、ワーキンググループメンバーでの選考を実施し、1件の「最も秀逸な事例」と4件の「秀逸な事例」を選定し、受賞校は2017年8月31日に実施された第18回大会にて表

彰された。

5. 各支部活動

(1)北海道支部

- ・2018年3月8日 2017年度総会・第1回研究会（札幌国際大学経済センターキャンパス）
- ・2018年6月17日 2017年度第2回研究会（北海道武蔵女子短期大学）

(2)東日本支部

- ・2017年7月2日 2017年度総会・第1回研究会（中央大学駿河台記念館）
- ・2017年12月17日 2017年度第2回研究会（岩手県立大学アイーナキャンパス）
- ・2018年3月3日 2017年度第3回研究会（ものつくり大学）

(3)関西支部

- ・2018年2月27日 2017年度支部運営委員会（キャンパスプラザ京都）
- ・2018年4月14日 2017年度支部運営委員会（キャンパスプラザ京都）

(4)九州支部

- ・2017年12月17日 総会・第20回研究会（佐賀女子短期大学）
- ・2018年2月14日 支部役員会（香蘭女子短期大学）
- ・2018年4月28日 第21回支部研究会（九州大学）（事務局）

2018年度事業計画及び予算

「総会報告」の通り、2018年度事業計画及び予算について、総会にて下記の通り承認された。なお、2018年度予算は6ページをご覧ください。

2018年度事業計画

1. 2018年度事業期間

- ・2018年7月1日～2019年6月30日

2. 事業の概要

(1) 第19回大会の開催

- ・2018年9月3日(月)～4日(火) 香蘭女子短期大学

(2) 支部研究会の開催

- ・各支部年2～3回程度

(3) インターンシップ研究年報21号の刊行

(4) News Letter の発行(年2回)及びその他広報活動の充実

(5) 「2018年度 高良記念研究助成」実施

(6) 「楨本記念賞」の選定

(7) 理事、会長選挙の実施

(8) 20周年記念事業の実施

(9) その他

（事務局）

年報編集委員会報告

『インターンシップ研究年報』第22号への投稿を募集いたします

年報編集委員会では、『インターンシップ研究年報』第22号への投稿を募集いたします。投稿に関する規程（後述）につきましては、前号からの大きな変更点はありません。今回の募集区分は、以下のとおりです。

(1) 「研究論文」

- ・「論文」（一定の研究成果をまとめたもの）
- ・「研究ノート」（「論文」に準ずる研究成果をまとめたもの、もしくは研究の基礎となる情報をまとめたもの）

(2) 「資料等」

- ・「資料」（報告・資料等会員のさらなる研究・実践活動に資するもの）
- ・「活動紹介」（実践活動を取りまとめたもの）
- ・「書評」
- ・「その他」

(1) 「研究論文」への投稿につきましては、査読を行い、その結果をもとに本委員会での合議により掲載の可否を決定いたします。なお、掲載の条件として、投稿時の区分からの変更（『論文』→『研究ノート』、『研究ノート』→『資料』等）を提示させていただく場合もあります。また、(2) 「資料等」につきましては、査読には該当いたしません。年報編集委員会において内容を確認のうえ、掲載の可否を判断いたします。この区分につきましても掲載を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

なお投稿に当たっては、『インターンシップ年報』編集規程』及び『インターンシップ研究年報』第22号研究論文等投稿規程』を必ずよくお読み下さい。これら規程は、現在、学会ウェブサイト内『研究年報』投稿の募集』のページよりご覧いただけます。特に、投稿規程のうち「3. 『研究論文』及び『資料等』は、以下であること。i. 他の学術雑誌に発表されたことがない、未発表のものであること。ii. 他誌へ投稿中の論文等または投稿する予定のある論文等でないこと。」につきましては、その趣旨を十分ご理解いただき、規程に則った投稿へのご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

原稿は、当該ファイルを添付するかたちで、下記メールアドレス宛てにお送りください。また、メール本文には、掲載を希望する区分（『論文』、『研究ノート』、『資料』等）と、投稿者の連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）の明記をあわせてお願いいたします。

締切： 2019年1月20日（日）（厳守）

送信先： 日本インターンシップ学会年報編集委員会

E-mail: jsi-bec@js-internship.jp

会員のみなさまからの積極的な投稿をお待ちしております。

（年報編集委員会委員長 長尾博暢・鳥取大学）

2017(平成29)年度 日本インターンシップ学会 収支計算書
(2017年7月1日～2018年6月30日)

【一般会計】

(単位:円)

支出の部	2017年度予算(a)	2017年度決算(b)	予実差異(b-a)	収入の部	2017年度予算(a)	2017年度決算(b)	予実差異(b-a)
事業費	1,650,000	1,494,000	-156,000	会費収入	2,635,000	2,880,000	245,000
(北海道支部活動費)	150,000	150,000	0	(個人会員)	1,720,000	1,845,000	125,000
(東日本支部活動費)	150,000	150,000	0	(学生会員)	75,000	75,000	0
(関西支部活動費)	150,000	150,000	0	(法人・団体会員)	840,000	960,000	120,000
(九州支部活動費)	150,000	150,000	0	事業収入	0	10,500	10,500
(大会開催費)	300,000	300,000	0	(研究会収入)	0	0	0
(年報作成費)	500,000	594,000	94,000	(書籍・年報等販売収入)	0	10,500	10,500
(J-stage移行費)	250,000	0	-250,000	雑収入	100	369,763	369,663
(記念事業費)	0	0	0	(受取利息)	100	7	-93
(役員選挙費)	0	0	0	(その他の収入)	0	140,000	140,000
(名簿作成費)	0	0	0	(大会開催費余剰金)	0	0	0
事務管理費	2,138,880	1,950,245	-188,635	(北海道支部余剰金)	0	0	0
(通信費)	200,000	110,102	-89,898	(東日本支部余剰金)	0	64,653	64,653
(HP管理費)	38,880	38,880	0	(関西支部余剰金)	0	0	0
(役員・委員等旅費補助)	700,000	740,000	40,000	(九州支部余剰金)	0	165,103	165,103
(業務外部委託費)	1,000,000	1,020,283	20,283				
(その他運営費)	200,000	40,980	-159,020				
積立金(特別会計へ)	200,000	200,000	0				
寄付金(特別会計へ)	100,000	100,000	0				
予備費	5,462,096	0	-5,462,096				
次年度繰越金	0	6,431,894	6,431,894	前年度繰越金	6,915,876	6,915,876	0
合計	9,550,976	10,176,139	625,163	合計	9,550,976	10,176,139	625,163

(当該年度事業のみ)	4,088,880	3,744,245	-344,635	(当該年度事業のみ)	2,635,100	3,260,263	625,163
------------	-----------	-----------	----------	------------	-----------	-----------	---------

【特別会計(高良記念研究助成、楨本記念賞事業)】

(単位:円)

支出の部	2017年度予算(a)	2017年度決算(b)	予実差異(b-a)	収入の部	2017年度予算(a)	2017年度決算(b)	予実差異(b-a)
2017年度研究助成金	200,000	200,000	0	受取利息	50	6	-44
楨本記念賞事業費	100,000	105,650	5,650	余剰金	0	0	0
振込手数料	1,000	1,512	512	その他	0	0	0
予備費	494,199	497	-493,702	積立金(一般会計より)	200,000	200,000	0
				寄付金(一般会計より)	100,000	100,000	0
次年度繰越金		487,496	487,496	前年度繰越金	495,149	495,149	0
合計	795,199	795,155	-44	合計	795,199	795,155	-44

貸借対照表兼財産目録(2018.6.30現在)

資産の部		負債・純資産の部	
流動資産	8,029,907	(負債の部)	
手持現金(鳥取大)	0	流動負債	1,110,517
手持現金(九州大)	0	特)未払金	0
預金	7,685,477	未払費用	138,517
福岡銀行(一般会計)	0	特)未払費用	0
福岡銀行(特別会計)	0	前受金	962,000
山陰合同銀行(一般会計)	0	仮受金	10,000
郵便振替口座	7,685,477	固定負債	0
郵便振替口座(玉川)	20,000		
未収入金	324,430	(純資産の部)	
一)未収入金	0	剰余金	6,919,390
立替金	0		
仮払金	0	(一般会計繰越金)	6,431,894
固定資産	0	(特別会計繰越金)	487,496
資産合計	8,029,907	負債・純資産合計	8,029,907

(注) 本来は貸借対照表と財産目録を個別作成する必要があるが、
財産が僅少のため当面本表にて対応することとする。

2018(平成30)年度 日本インターンシップ学会 一般会計 予算

一般会計【収入の部】

(単位:円)

大科目	中科目	2018年度予算額	前年度予算額	2017年度実績	2016年度実績	2015年度実績	予算増減
会費収入	小計	2,880,000	2,635,000	2,880,000	3,125,000	2,240,000	245,000
	個人会員(10,000円)	1,850,000	1,720,000	1,845,000	2,080,000	1,380,000	130,000
	学生会員(5,000円)	70,000	75,000	75,000	65,000	80,000	-5,000
	法人・団体会員(20,000円)	960,000	840,000	960,000	980,000	780,000	120,000
事業収入	小計	0	0	10,500	28,000	0	0
	研究会収入	0	0	0	0	0	0
	書籍・年報等販売収入	0	0	10,500	28,000	0	0
雑収入	小計	100	100	369,763	660,981	252,924	0
	受取利息	100	100	7	23	95	0
	その他の収入	0	0	140,000	104,030	0	0
	大会開催費余剰金	0	0	0	0	0	0
	北海道支部余剰金	0	0	0	169,708	53,450	0
	東日本支部余剰金	0	0	64,653	14,844	0	0
	関西支部余剰金	0	0	0	127,753	110,000	0
	九州支部余剰金	0	0	165,103	244,623	89,379	0
当期収入合計(A)		2,880,100	2,635,100	3,260,263	3,813,981	2,492,924	245,000
前期繰越収支差額		6,731,894	6,915,876	6,915,876	6,549,998	6,781,074	-183,982
収入合計(B)		9,611,994	9,550,976	10,176,139	10,363,979	9,273,998	61,018

一般会計【支出の部】

大科目	中科目	2018年度予算額	前年度予算額	2017年度実績	2016年度実績	2015年度実績	予算増減
事業費	小計	1,878,000	1,650,000	1,494,000	1,556,732	1,199,651	228,000
	北海道支部活動費	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	0
	東日本支部活動費	150,000	150,000	150,000	150,000	149,519	0
	関西支部活動費	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	0
	九州支部活動費	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	0
	大会開催費(大会開催準備費)	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	0
	年報作成費	400,000	500,000	594,000	363,205	300,132	-100,000
	J-stage移行費	228,000	250,000	0	0	0	-22,000
	記念事業費	300,000	0	0	0	0	300,000
	役員選挙費	50,000	0	0	118,811	0	50,000
	名簿作成費	0	0	0	174,716	0	0
事務管理費	小計	2,038,880	2,138,880	1,950,245	1,691,371	1,524,349	-100,000
	通信費(郵送料等)	200,000	200,000	110,102	107,575	126,417	0
	HP管理費	38,880	38,880	38,880	38,880	38,880	0
	役員・委員等旅費補助	700,000	700,000	740,000	520,000	700,000	0
	業務外部委託費	1,000,000	1,000,000	1,020,283	938,496	465,653	0
	その他運営費	100,000	200,000	40,980	86,420	193,399	-100,000
当期支出小計		3,916,880	3,788,880	3,444,245	3,248,103	2,724,000	128,000
特別会計へ	積立金	200,000	200,000	0	200,000	0	0
	寄付金	100,000	100,000	0	0	0	0
予備費	予備費	5,395,114	5,462,096	0	0	0	-66,982
当期支出合計(C)		9,611,994	9,550,976	3,444,245	3,448,103	2,724,000	61,018
当期収支差額(A)-(C)		-6,731,894	-6,915,876	-183,982	365,878	-231,076	183,982
次期繰越収支差額(B)-(C)		0	0	6,731,894	6,915,876	6,549,998	0

広報委員会報告

学会関連情報の web サイト掲載及びメルマガ発信について

本学会に寄せられました研究会やセミナー開催案内および教員公募等の情報は、学会 web サイトに掲載するほか、随時、メルマガで配信しております。今後も関連情報をぜひ、お寄せください。情報掲載につきましてご不明な点は、広報委員会 (jsi.prc@gmail.com) までお問合せください。なお、最終的な掲載の可否は広報委員会で検討させていただきますのでご了承ください。

メルマガ配信先アドレスの登録・更新について

本学会メールマガジンは、事務局の名簿にアドレス登録のある会員の皆様に配信いたしております。配信停止または新規配信を希望される場合には、広報委員会までご一報ください。また、このところ未達アドレスも増えていますので、アドレスを変更された際には学会 web サイトの会員情報照会・更新ボタンより手続きをお願いいたします。

(広報委員会委員長 高橋秀幸・北海道武蔵女子短期大学)

高良記念研究助成対象者決定報告

本学会では、2007 年度から、インターンシップに係る研究・実践活動の発展・普及のため、特に若手研究者の育成や会員相互の研究交流の促進に向けて、「高良記念研究助成」制度を設け、優れた研究課題への研究助成を行っております。2018 年度 (第 12 回) の研究助成申請者は 2 件でしたが、審査委員の厳正な審査の結果、王佳会員 (九州大学大学院 人間環境学研究院 教育システム専攻 教育社会学研究室 博士後期課程 学術協力研究員) の「中国の専門職大学院におけるインターンシップモデルと学習効果に関する考察」の 1 件が採択されました。

なお、2019 年度 (第 13 回) の募集に向けて、高良記念研究助成委員会では、企画研究 WG、九州支部との共催により、本年 11 月に研究スタートアップセミナーを開催いたします。(詳細は、九州支部の研究会案内を参照ください。)

来年度の研究助成応募期間は 2019 年 4 月～6 月を予定していますが、詳細につきましては、決定次第会員の皆様にご連絡いたします。是非、多くの応募申請がなされますよう期待しております。

(2018 年度高良記念研究助成審査委員会委員長 牛山佳菜代・目白大学)

企画研究WG報告

研究スタートアップ支援セミナー開催について

企画研究 WG では、高良記念研究助成委員会と九州支部との共催により、2018 年 11 月 23 日 (金) 13:30～18:00 に久留米大学福岡サテライト (福岡市中央区天神) において『研究スタートアップ支援セミナー～高良記念研究助成受賞からのその後のキャリア～』を開催いたします。(詳細は、九州支部の研究会案内を参照ください。)

本セミナーは、授業や活動などの実践はできてもそれを研究にするにはどうしたらよいか悩んでいる方、研究キャリアの浅い会員や実務家を対象とした研究入門セミナーです。第 1 部では学問分野におけるインターンシップの研究分野と科研申請の際のチェックポイントについて、日本学術振興会学術システム研究センターで科研改革 2018 も担当された吉本圭一会員に学術的な観点から講演いただき、第 2 部では本学会の若手研究者支援助成制度である高良記念研究助成の歴代受賞者に登壇いただき申請時から受賞、その後の研究キャリアについてパネルディスカッション形式で当時を振り返り、今後の研究展開について意見交換を行っていただきます。第 3 部では、これらを踏まえた簡単なワークとして、研究計画の立て方や方法論など、研究を始める際に必要な初歩的な知識をワークショップ形式で行います。

会員だけでなく、非会員の方も参加可能です。九州地区に限らず、多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

(企画研究 WG 委員長 江藤智佐子・久留米大学)

楨本記念賞WG報告

今回の楨本記念賞ですが、2019 年度に開催される第 20 回学会大会時での表彰を予定しております。来年 6 月開催の理事会時まで、各支部からインターンシップ事例を推薦いただく形で進めていきたいと考えております。今後学会ウェブサイトにも募集要項等を公開させていただきますので、会員の皆様におかれましては、秀逸な事例をぜひ支部にてご共有いただきたく存じます。

現在、文部科学省は「大学等におけるインターンシップの届出制度」における取組みの中から、学生の能力伸長に寄与するなどの高い教育的効果を発揮しており、他の大学等や企業に普及するのに相応しいモデルとなり得るインターンシップ事例の表彰を 12 月下旬に予定しています。※参考: 文部科学省「大学等におけるインターンシップ表彰の申請について」
http://www.mext.go.jp/b_menu/internship/1408338.htm

このような国を挙げたインターンシップ推進の流

れのなかで、本賞の意義や価値がさらに高まっているものと考えております。次回の表彰では、より本学会らしい秀逸な事例の表彰できますことを期待しております。(楨本記念賞 WG 委員長 松坂暢浩・山形大学)

支部活動報告

【北海道支部】

2018年6月17日(日)、北海道武蔵女子短期大学において、2017年度第2回研究会を開催いたしました(日本労務学会北海道支部との共催)。北海道支部会員を中心に15名の方にご参加いただきました。

北海道支部では、毎年6月に講演を主とした研究会を開催しており、今回は法政大学大学院教授の石山恒貴氏をお招きして「大学生のキャリア構築に与える要因の分析—インターンシップ、アルバイト、価値観ワークショップによる検討—」と題して、大学生のキャリア構築について、アルバイトに関する調査や、産学連携、インターンシップを通して身につけられる意識・スキルがどのようなものなのかをご説明いただきました。

学生は教育機関での学習・研究はもちろんのこと、ゼミやサークルなどでのアクティビティ、またアルバイトでの経験など、さまざまな活動を行っています。それらすべてが学生のキャリアを形成する糧となり、また主体性や職業意識の伸長に繋がるのではないのでしょうか。石山先生のご発表は、学生生活や就職活動に大きく関わる本学会の会員にとって、非常に興味深い内容でした。

また、10月に運営委員会を開き、2018年度も3月に総会・第1回研究会、6月に第2回研究会を開催することを決定しました。さらに今年度は、日本キャリアデザイン学会主催の「キャリアデザインライブ」(2019年3月9日開催予定)に共催する予定で準備を進めています。これらの今後の情報につきましては、学会 Web サイトやメーリングリスト等でお知らせする予定です。皆さまの参加をお待ちしております。

(北海道支部広報委員 小林 純・札幌国際大学短期大学部)

【東日本支部】

2018年度 支部役員会ならびに総会の開催

7月3日、筑波学院大学において、東日本支部役員会・総会が開催され、2017年度の支部事業の報告と支部決算および監査報告、ならびに、2018年度の支部事業計画(案)と支部予算(案)が承認されました。

2018年度 第1回支部研究会の開催

2018年度支部総会後開催された2018年度第1回

支部研究会は、会員の皆様のご協力により、盛況のうちに幕を閉じることができました。はじめに、古閑博美東日本支部長と開催校である筑波学院大学長大島慎子副支部長よりご挨拶をいただいた後、金久保紀子先生(筑波学院大学教授・国際別科長)より、「留学生のインターンシップへの取り組み」と題した基調講演をいただきました。続いて、黒岩賀津子様(いばらきコープ生活協同組合管理部採用教育担当主任)、川村昂弘様(株式会社カスミ人事部労務・採用)より、「インターンシップの受け入れ企業による実情と展望」についてのご発表、「地域活性化におけるインターンシップの役割」について、大島慎子先生をモデレーター、黒岩様 川村様 金久保先生に加え、岡本俊一様(株式会社関彰商事人事部長)をパネラーとして、ディスカッションがおこなわれました。さらに、樫村真由会員と古閑博美支部長による研究発表もおこなわれ、非常に充実した研究会となりました。

2018年度 第2回支部研究会について

学会広報委員会を通じて、「新着情報 No.124」としてご案内させていただきましたとおり、東日本支部では、第2回支部研究会を12月1日、青森中央学院短期大学にて開催する予定です。東日本支部会員の皆様はもちろん、全国の学会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

(東日本支部広報委員 山口圭介・玉川大学)

【関西支部】

関西支部は、8月10日(金)に第13回支部研究会をキャンパスプラザ京都で開催しました。第一報告は廣瀬幸弘会員(関西支部長/立命館大学)の「産学国際協働 PBL の長期インターンシップにおける教育効果と企業評価について」、第二報告は田中 寧氏(京都産業大学)の「インターンシップ専門人材育成プログラム —WACE GLOBAL WIL MODULE に参加して—」でした。第一報告は、インド工科大学ハイデラバード校と提携して長期インターンシップに取り組まれている理工学部でのお取組みを、第二報告では、インターンシップや WIL (Work Integrated Learning : 職業統合的学習) の国際的組織である WACE (the World Association for Cooperative & Work-Integrated Education) の WIL 育成プログラムに参加されたご経験等を紹介していただいたものです。インターンシップの国際的な展開を学ぶことができました。

また、2019年の大会(関西支部が担当)は、廣瀬支部長の下、立命館大学の大阪茨木キャンパスで8月31日(土)~9月1日(日)を目処に開催する方向で準備を進めています。

(関西支部副支部長 安孫子勇一・近畿大学)

【九州支部】

2018年4月28日(日)に九州大学において支部役員会ならびに第21回研究会『職業統合的学習(WIL)とコンピテンシー』と題して開催されました。支部役員会は、19回大会に向けて進捗状況と運営体制の確認後、第22回研究会の実施計画が示され承認されました。第21回研究会では、職業体験的学習の質的な転換を展望し様々な学習形態を包含した職業統合的学習が提唱され、引き続き、日本のホワイトカラー特に事務系における厚生労働省の能力評価基準の成立過程、さらに、実務経験を踏まえたコンピテンション・ディクショナリーの策定プロセスと課題について発表がありました。その後、フロアを交えてセクター・プログラムによって修得レベルが違う学修成果と職業の世界で活躍できるコンピテンシーの関係性について活発な議論が交わされ、学校と産業界が相互に対話することの重要性を改めて認識し終了しました。当日は、学会・非会員含め29名の参加がありました。

7月21日(土)には、2018年度支部総会を香蘭女子短期大学で開催し、2017年度活動及び決算報告に引き続き2018年度事業計画・収支予算及び役員選任の審議が行われ、すべての議案が承認されました。

11月23日(金・祝日)に久留米大学福岡サテライトにおいて新年度支部役員会ならびに第22回研究会が開催されます。詳細は、学会ホームページ等でご案内いたします。

(九州支部広報委員 小嶋紀博・教育雇用事情研究所)



4月28日に開催された九州支部第21回研究会の様子

納入先

郵便口座：02750-1-108419

口座名義(「加入者名」の欄)：

日本インターンシップ学会

ゆうちょ銀行 口座番号：

店番：279(当座)108419

口座名義：日本インターンシップ学会

*振込にかかる手数料等は各自でご負担ください。

会員情報変更の連絡について

前号の News Letter 記載の通り、会員情報管理を(株)ガリレオへ外部委託すると共に会員情報管理システム(SOLTI)を導入し、会員情報管理をオンライン化しております。つきましては、会員情報の修正が必要な場合は、学会ホームページへアクセスの上、システム(SOLTI:会員情報照会・更新)にログインして修正を行ってください。

(事務局)

事務局からのお知らせ

2018年度会費納入のお願い

前号の NEWS LETTER と会費納入の用紙が会員の皆様に送付されていると存じます。2018年度(2018年7月から2019年6月)分の会費未納の方は下記口座にお振込みいただきますようお願い申し上げます。

日本インターンシップ学会 News Letter 2018 No.1

発行日：平成 30 年 11 月 30 日

発行：日本インターンシップ学会 会長 折戸 晴雄

編集：日本インターンシップ学会広報委員会 委員長 高橋 秀幸

印刷：日本インターンシップ学会事務局 事務局長 根木 良友

〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1

玉川大学観光学部 根木良友研究室内

E-mail：jsi-sec@js-internship.jp

Tel：042-739-8302 Fax：042-739-8828